

令和七年度 中学校卒業式 学校長式辞

やわらかな春の光とともに、桜の芽吹きにも新しい季節の訪れが感じられるこの良き日に、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに「第22回 静岡大成中学校 卒業証書授与式」を挙げていただけますことは、大きな喜びであり、教職員を代表し、心よりお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。三年前、少し大きめの制服に身を包み、緊張した面持ちで入学式に臨まれたお子様は、こんなにも立派に成長されました。本日の晴れ姿は、皆様の深い愛情の賜物です。今日まで、影となり、日向となり、我が子の成長を見守ってこられた皆様に心からの敬意を表しますとともに、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

ただいま卒業証書を手にした45名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。小さな不安と大きな期待を胸に本校へ入学してきた皆さんは、この三年間で心も体も大きく成長しました。授業に真剣に臨む姿、仲間と励まし合いながら努力を続けた部活動、学校行事で見たクラスの団結力など、皆さんの活躍する姿が印象に残っています。もちろん、そのさまざまな活動において、すべてが順調だったわけではなかったと思います。時には、悩んだり、立ち止まったりすることもあるでしょう。しかし、その経験こそが皆さんを強くし、他者の痛みに気づける優しさを育てました。良かったことも悪かったこともすべての取り組みが皆さんにとってのかけがえのない財産です。

月並みな言葉ではありますが、みなさんは本日をもって義務教育を修了します。これまで、家族や先生、地域の方々に守られ支えられることも多かったと思います。これからは少しずつ、自らの意思で決断し、自らの責任で歩いていかなければなりません。高校はどこの高校に進んだかよりも、進んだ先で何をどう頑張るかが大切だと考えます。自分のやりたいことと社会とのかかわりを照らし合わせながら学びを深めていってください。社会は大きく変化し続けていますが、どのような時代においても大切なのは、自ら考え、判断し、行動すること。そして人を思いやる心を持つことです。まさに、本校の校訓である「凛々しきこと・優しきこと」に込められた願いです。どうか新しいステージでも失敗を恐れず挑戦を続けていってください。

それでは、本日をもって一旦のお別れとなりますが、静岡大成中学校は皆さんのホームであることを忘れないでください。我々教職員にとって、卒業生が成長した姿で母校を訪れてくれることはこの上ない喜びです。また、お会いできる日を楽しみにしています。皆さんのますますのご活躍を祈念し、式辞といたします。

令和八年三月十八日

校長 堀 泰 之